

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】令和 3 年 12 月 16 日 (2021.12.16)

【公開番号】特開 2021-79948 (P2021-79948A)

【公開日】令和 3 年 5 月 27 日 (2021.5.27)

【年通号数】公開・登録公報 2021-024

【出願番号】特願 2021-26561 (P2021-26561)

【国際特許分類】

B 6 0 N 2/68 (2006.01)

B 6 0 N 2/42 (2006.01)

B 6 0 N 2/90 (2018.01)

A 4 7 C 7/00 (2006.01)

【F I】

B 6 0 N 2/68

B 6 0 N 2/42

B 6 0 N 2/90

A 4 7 C 7/00

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 11 月 4 日 (2021.11.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

高張力鋼板を用いて成形されたフレーム部材を備える車両用シートフレームであって、
前記車両用シートフレームは、シートバックフレームと、シートクッションフレームと、
前記シートバックフレームと前記シートクッションフレームとを連結する連結ブラケットと、を備え、

前記シートバックフレームは、上部フレームと、下部フレームと、サイドフレームと、
からなり、前記サイドフレームには、複数の貫通穴が設けられており、

前記フレーム部材は、

強度が強化されている領域と、強度が強化されていない領域と、を有し、

前記強度が強化されている領域と前記強度が強化されていない領域とのつなぎ目は、前記複数の貫通穴を避けて、貫通穴の上下方向の間に設けられることを特徴とする車両用シートフレーム。

【請求項 2】

シートクッションに対してシートバックを回動可能に連結するリクライニング機構が設けられており、

前記強度が強化されている領域と前記強度が強化されていない領域とのつなぎ目は、前記リクライニング機構の取付部を避けて設けられることを特徴とする請求項 1 に記載の車両用シートフレーム。

【請求項 3】

前記サイドフレームには、エアバッグユニットを取り付けるための穴であるエアバッグ取付穴が形成され、

前記強度が強化されている領域と前記強度が強化されていない領域とのつなぎ目は、前記エアバッグ取付穴を避けて設けられることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の車両用

シートフレーム。

【請求項 4】

前記サイドフレームには、エアバッグユニットを取り付けるための穴であるエアバッグ取付穴が形成され、

前記強度が強化されている領域と前記強度が強化されていない領域とのつなぎ目は、前記エアバッグ取付穴と前記リクライニング機構の取付部との間に設けられることを特徴とする請求項 2 に記載の車両用シートフレーム。

【請求項 5】

前記サイドフレームには、エアバッグユニットを取り付けるための穴であるエアバッグ取付穴が形成され、

前記サイドフレームと前記下部フレームとは、溶接部において溶接されており、

前記強度が強化されている領域と前記強度が強化されていない領域とのつなぎ目は、前記溶接部と前記エアバッグ取付穴との間に設けられることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか一項に記載の車両用シートフレーム。

【請求項 6】

高張力鋼板を用いて成形されたフレーム部材を備える車両用シートフレームであって、

前記車両用シートフレームは、シートバックフレームと、シートクッションフレームと、前記シートバックフレームと前記シートクッションフレームとを連結する連結ブラケットと、を備え、

前記シートバックフレームは、上部フレームと、下部フレームと、サイドフレームと、からなり、前記サイドフレームには、複数の貫通穴が設けられており、

前記フレーム部材は、

強度調整用の熱処理が施されない非熱処理部と、

強度低下用の熱処理が施され、前記非熱処理部よりも強度が低い低強度部と、を有し、

前記低強度部は、前記シートバックフレームを構成する前記サイドフレームに、前記複数の貫通穴を避けて、貫通穴の上下方向の間に設けられることを特徴とする車両用シートフレーム。

【請求項 7】

シートクッションに対してシートバックを回動可能に連結するリクライニング機構が設けられており、

前記低強度部は、前記リクライニング機構の取付部を避けて設けられることを特徴とする請求項 6 に記載の車両用シートフレーム。

【請求項 8】

前記シートバックフレームの前記サイドフレームには、エアバッグ取付穴が形成され、

前記低強度部は、前記エアバッグ取付穴を避けて設けられることを特徴とする請求項 6 又は 7 に記載の車両用シートフレーム。

【請求項 9】

前記サイドフレームには、エアバッグユニットを取り付けるための穴であるエアバッグ取付穴が形成され、

前記低強度部は、前記エアバッグ取付穴と前記リクライニング機構の取付部との間に設けられることを特徴とする請求項 7 に記載の車両用シートフレーム。

【請求項 10】

前記サイドフレームには、エアバッグユニットを取り付けるための穴であるエアバッグ取付穴が複数形成され、

前記サイドフレームと前記下部フレームとは、溶接部において溶接されており、

前記低強度部は、前記溶接部と前記エアバッグ取付穴との間に設けられることを特徴とする請求項 6 乃至 9 のいずれか一項に記載の車両用シートフレーム。

【請求項 11】

車両用シートは、シートクッションとシートバックとを備えるシート本体と、前記シートクッションに対して前記シートバックを回動可能に連結するリクライニング機構と、車

体フロアに対して前記シート本体を昇降可能に連結するハイトリンク機構と、車体フロアに取り付けられ、前記シート本体を前後移動可能に支持するレール機構と、から構成されており、

前記シートクッションは、骨格となる前記シートクッションフレームに載置したクッションパッドを表皮材で被覆することにより構成され、

前記シートバックは、前記シートバックフレームに載置したクッションパッドを表皮材で被覆することにより構成され、

前記シートバックフレームは、上側に上部フレームと、該上部フレームの左右の端部のそれぞれに連結して配設される左右のサイドフレームと、該左右のサイドフレームの下端部に架設される下部フレームと、を備え、

前記強度が強化されている領域と前記強度が強化されていない領域とのつなぎ目は、前記シートバックフレームの前記サイドフレームに設けられることを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか一項に記載の車両用シートフレーム。

【請求項 1 2】

車両用シートは、シートクッションとシートバックとを備えるシート本体と、前記シートクッションに対して前記シートバックを回動可能に連結するリクライニング機構と、車体フロアに対して前記シート本体を昇降可能に連結するハイトリンク機構と、車体フロアに取り付けられ、前記シート本体を前後移動可能に支持するレール機構と、から構成されており、

前記シートクッションは、骨格となる前記シートクッションフレームに載置したクッションパッドを表皮材で被覆することにより構成され、

前記シートバックは、前記シートバックフレームに載置したクッションパッドを表皮材で被覆することにより構成され、

前記シートバックフレームは、上側に上部フレームと、該上部フレームの左右の端部のそれぞれに連結して配設される左右のサイドフレームと、該左右のサイドフレームの下端部に架設される下部フレームと、を備え、

前記低強度部は、前記シートバックフレームの前記サイドフレームに設けられることを特徴とする請求項 6 乃至 10 のいずれか一項に記載の車両用シートフレーム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記課題は、本発明に係る車両用シートフレームによれば、高張力鋼板を用いて成形されたフレーム部材を備える車両用シートフレームであって、前記車両用シートフレームは、シートバックフレームと、シートクッションフレームと、前記シートバックフレームと前記シートクッションフレームとを連結する連結ブラケットと、を備え、前記シートバックフレームは、上部フレームと、下部フレームと、サイドフレームと、からなり、前記サイドフレームには、複数の貫通穴が設けられており、前記フレーム部材は、強度が強化されている領域と、強度が強化されていない領域と、を有し、前記強度が強化されている領域と前記強度が強化されていない領域とのつなぎ目は、前記複数の貫通穴を避けて、貫通穴の上下方向の間に設けられることにより解決される。

また、上記課題は、本発明に係る車両用シートフレームによれば、高張力鋼板を用いて成形されたフレーム部材を備える車両用シートフレームであって、前記車両用シートフレームは、シートバックフレームと、シートクッションフレームと、前記シートバックフレームと前記シートクッションフレームとを連結する連結ブラケットと、を備え、前記シートバックフレームは、上部フレームと、下部フレームと、サイドフレームと、からなり、前記サイドフレームには、複数の貫通穴が設けられており、前記フレーム部材は、強度調整用の熱処理が施されない非熱処理部と、強度低下用の熱処理が施され、前記非熱処理部

よりも強度が低い低強度部と、を有し、前記低強度部は、前記シートバックフレームを構成するサイドフレームに、前記複数の貫通穴を避けて、貫通穴の上下方向の間に設けられることにより解決される。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

上記の車両用シートフレームにおいて、シートクッションに対してシートバックを回動可能に連結するリクライニング機構が設けられており、前記強度が強化されている領域と前記強度が強化されていない領域とのつなぎ目は、前記リクライニング機構の取付部を避けて設けられることとしてよい。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

上記の車両用シートフレームにおいて、前記サイドフレームには、エアバッグユニットを取り付けるための穴であるエアバッグ取付穴が形成され、前記強度が強化されている領域と前記強度が強化されていない領域とのつなぎ目は、前記エアバッグ取付穴を避けて設けられることとしてよい。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

上記の車両用シートフレームにおいて、前記サイドフレームには、エアバッグユニットを取り付けるための穴であるエアバッグ取付穴が形成され、前記強度が強化されている領域と前記強度が強化されていない領域とのつなぎ目は、前記エアバッグ取付穴と前記リクライニング機構の取付部との間に設けられることとしてよい。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

上記の車両用シートフレームにおいて、前記サイドフレームには、エアバッグユニットを取り付けるための穴であるエアバッグ取付穴が形成され、前記サイドフレームと前記下部フレームとは、溶接部において溶接されており、前記強度が強化されている領域と、前記強度が強化されていない領域とのつなぎ目は、前記溶接部と前記エアバッグ取付穴との間に設けられることとしてよい。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

上記の車両用シートフレームにおいて、シートクッションに対してシートバックを回動可能に連結するリクライニング機構が設けられており、前記低強度部は、前記リクライニング機構の取付部を避けて設けられることとしてよい。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

上記の車両用シートフレームにおいて、前記シートバックフレームの前記サイドフレームには、エアバッグ取付穴が形成され、前記低強度部は、前記エアバッグ取付穴を避けて設けられることとしてよい。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

上記の車両用シートフレームにおいて、前記サイドフレームには、エアバッグユニットを取り付けるための穴であるエアバッグ取付穴が形成されており、前記低強度部は、前記エアバッグ取付穴と前記リクライニング機構の取付部との間に設けられることとしてよい。

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

上記の車両用シートフレームにおいて、前記サイドフレームには、エアバッグユニットを取り付けるための穴であるエアバッグ取付穴が複数形成され、前記サイドフレームと下部フレームとは、溶接部において溶接されており、前記低強度部は、前記溶接部と前記エアバッグ取付穴との間に設けられることとしてよい。

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

上記の車両用シートフレームにおいて、車両用シートは、シートクッションとシートバックとを備えるシート本体と、前記シートクッションに対して前記シートバックを回動可能に連結するリクライニング機構と、車体フロアに対して前記シート本体を昇降可能に連結するハイトリンク機構と、車体フロアに取り付けられ、前記シート本体を前後移動可能に支持するレール機構と、から構成されており、前記シートクッションは、骨格となる前記シートクッションフレームに載置したクッションパッドを表皮材で被覆することにより構成され、前記シートバックは、前記シートバックフレームに載置したクッションパッドを表皮材で被覆することにより構成され、前記シートバックフレームは、上側に上部フレームと、該上部フレームの左右の端部のそれぞれに連結して配設される左右のサイドフレームと、該左右のサイドフレームの下端部に架設される下部フレームと、を備え、前記強度が強化されている領域と前記強度が強化されていない領域とのつなぎ目は、前記シートバックフレームの前記サイドフレームに設けられることとしてよい。

【手続補正１２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１９】

上記の車両用シートフレームにおいて、車両用シートは、シートクッションとシートバックとを備えるシート本体と、前記シートクッションに対して前記シートバックを回動可能に連結するリクライニング機構と、車体フロアに対して前記シート本体を昇降可能に連結するハイトリンク機構と、車体フロアに取り付けられ、前記シート本体を前後移動可能に支持するレール機構と、から構成されており、

前記シートクッションは、骨格となる前記シートクッションフレームに載置したクッションパッドを表皮材で被覆することにより構成され、

前記シートバックは、前記シートバックフレームに載置したクッションパッドを表皮材で被覆することにより構成され、

前記シートバックフレームは、上側に上部フレームと、該上部フレームの左右の端部のそれぞれに連結して配設される左右のサイドフレームと、該左右のサイドフレームの下端部に架設される下部フレームと、を備え、

前記低強度部は、前記シートバックフレームの前記サイドフレームに設けられることとしてよい。